

夏休みの
読書に
おすすめ!

アチャ



発売1か月半で3万部突破!

『失敗図鑑 すごい人ほどダメだった!』が、
「大人が読んでも勇気がもらえる」と大反響

10歳から読める、小学生向けのまったく新しい偉人伝が、今、老若男女から人気を集めています。

「一步を踏み出せないでいる
子どもも大人も、前に進む有
機を与えられることでしょ」

65歳男性・元教員

「歴史、美術、哲学も学べる
面白い一冊です。今の日本に
必要な一冊だと思いました」

26歳女性・会社員

「大人が読んでもおもしろく、
一気に読めました」

59歳女性・会社員

多くの伝記では「英雄」「成功者」として紹介されている、いわゆる偉人たち。でも、彼らは、ずっと成功し続けてきたわけではありません。今に名を残すすごい人も、たくさん失敗をしてきました。だから、「失敗しないと人生損だよ!」くらいの気持ちでどんどん新しいことにチャレンジしてほしい。本書は、そのための「勇気の本」です。

シリーズ発行部数
200万部突破ベストセラー『こころのふしぎ なぜ?どうして?』
原案・執筆 大野正人の最新作新しすぎた、ピカソ
にげ出した、二宮尊徳
天才ゆえに死にかけた、ダリ
理想が高すぎた、孔子
「イケてない」と言われた、シャネル
成功にしがみついた、ライト兄弟
「のろま」と呼ばれた、アインシュタイン
不良少年だった、ベーブ・ルース
だれにも理解されない、宇宙

10歳から読める

- 全漢字にふりがなつき!
10歳から読める
- 1項目10分で読める
- 「忘れる」「遅れる」「ウソをつく」…
子どもによくある失敗対策も紹介

最近落ち込んでいるあの人へのプレゼントにも。
読めば「自分の失敗なんて、たいしたことないじ
ゃん」と思える一冊です。

アチャ

「失敗」は、いろんな「不安」を「成長」に変える

「うちの子、真面目すぎる…」

➡ 「逃げてもいいよ」を教える、二宮尊徳の失敗

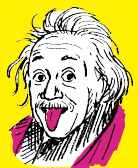


貧しい農家に生まれつつも、幼い頃からとても勤勉だった二宮尊徳。そんな優等生のまま大人になった尊徳は、当時貧しかった農村を復興するため全力を尽くしますが、武士たちから嫌われて悪口を言われます。自信を失った尊徳は、逃げ出してしまうのです！そのあとの尊徳は、断食修行をしたりして、自分の心と向き合います。そして、善と悪などというものはそもそも存在しないという考えに至り、心の強さを身に着けた尊徳は、また村に戻りました。結果、村の復興も成功し、それをお手本にして救われた村は600以上にのぼるといわれています。

「逃げる」というのはとてもかっこう悪いことのように思えます。しかし、どうしようもできないときは、その気持ちにまかせて逃げてしましましょう。大事なのは、逃げた後、何をするかです。

「勉強がダメで…」

➡ 「得意なことを突き詰めよ」を教える、アインシュタインの失敗



相対性理論をはじめ、物理学を何十年分も進化させたと言われている、「天才」アインシュタイン。しかし彼は小学校のころ「のろま」などと呼ばれてクラスメイトからバカにされていました。バカ正直で要領が悪い。勉強も、算数以外はまるでダメ。そんな彼が「天才」と呼ばれるようになるとは、誰が予想できたでしょうか。

ただ、アインシュタインからもわかるとおり、世の中は、人よりはるかに得意なことがあれば、それだけで生きていけるもの。いくつかの「苦手なこと」を気にして落ち込むより、たったひとつの「好きなこと」を大事にして、心から楽しむことが大切なのです。

「友だちと上手くいってないみたい…」

➡ 「無理して仲良くしないでいい」を教える、フロイトの失敗



「無意識」などで知られる精神医学者のフロイト。彼は、心のプロフェッショナルとして、心の研究に人生を捧げました。そんな中、一緒に研究してくれる仲間があらわれ、共に心について話し合うようになったのです。

しかしここで、フロイトは失敗しました。自分と違う意見を持つ仲間のことを、フロイトは認めようとせず、自分の考えに無理やりあてはめようとしたのです。そのせいで、ユングやアドラーなど、後に世界的な心理学者となる仲間たちは、彼の元を去ってしまいました。頑固な心を抑えられず、大切な仲間を失ったのです。

ただ、これは本当に間違ったことだったのでしょうか？ フロイトにとってどうしてもゆずれない部分だったから、それを守り抜いただけのことです。自分が一生懸命考えて出した答えを大切に思っているなら、それを捨ててまで誰かと仲良くする必要はないのかもしれません。



失敗図鑑 すごい人ほどダメだった！ 大野正人 著

定価：本体1,200円＋税
判型：A5判／色数：2色／ページ数：176P
ISBN 978-4-86651-059-0

大野正人（おおの まさと）

文筆家。絵本作家。論理的かつ深い視点から、誰にでもわかりやすく執筆する技術を持ち、携わった書籍の累計売上は 300 万部を超える。児童書『こころのふしぎ なぜ? どうして?』（高橋書店）を含む「楽しく学べるシリーズ」は累計 200 万部を突破。著書に『夢はどうしてかなわないの?』『命はどうして大切なの?』（汐文社）など。



[お問い合わせ]

株式会社 文響社 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9階
TEL 03-5575-5050 / FAX 03-5575-5051 / Email : info@bunkkyosha.com
編集担当：谷綾子 tani@bunkkyosha.com http://bunkkyosha.com